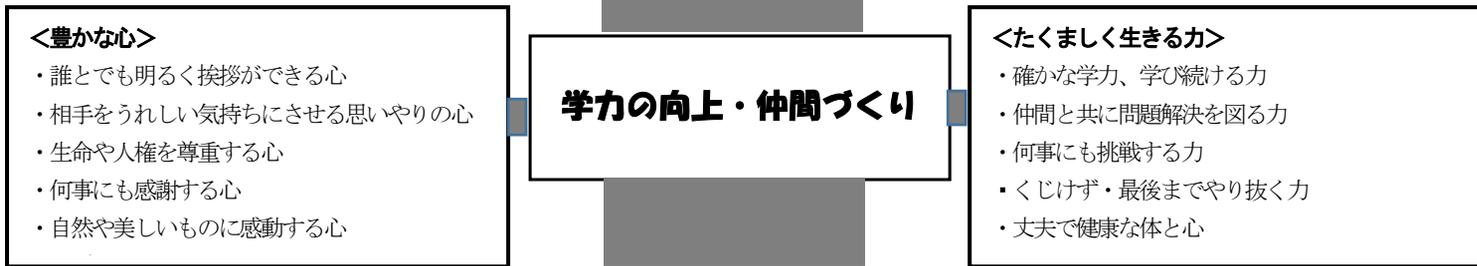
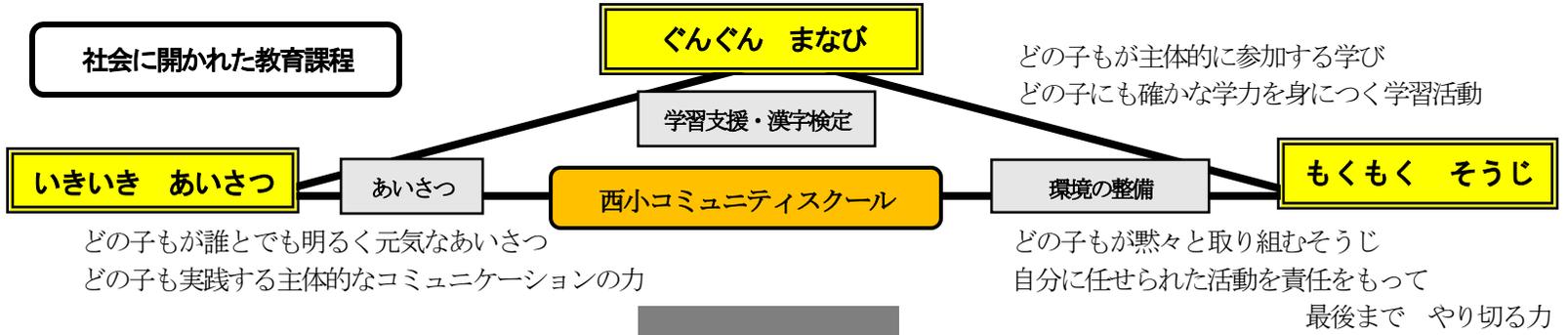


**学校の教育目標 「豊かな心を持ち たくましく生きる力のある子」の育成**

変化の激しい時代に対応するために「豊かな心」と「たくましく生きる力」を育む  
＝あたたかく・強く・しなやかに生きる力を持ち、明るく前向きに、仲間と共に問題解決ができる子



西小の3つのたからもの＝「あいさつ」・「まなび」・「そうじ」



**「学力の向上」** 仲間とつくる「学びの姿」

◆学力の向上◆ 確かな学力を身に付けるために  
＜授業づくり＞

- ・基本的な学習規律の確立
- ・「聞き方」「話し方」「ノートのとおり方」の指導
- ・ねらい・課題・評価の一体化

＜朝学習＞朝活動「ぐんぐんタイム」

- ・火・水・金の8:15～8:30、Iプリの活用
- ・朝読書 木の15分間、読み聞かせ

＜家庭学習＞学年に応じた指導

- ・ドリル的な学習 → 自主学習「自主勉」へ

◆多様な学びの創造◆

＜学習指導要領の改訂＞

- 特定の教科「道徳科」の実践、評価の工夫
- 外国語科・外国語活動：担任とALTとのTT指導
- 情報教育：PC・タブレット・電子黒板の活用
- プログラミング教育：思考・判断・表現力
- 「主体的で対話的で深い学び」の実践

＜図書館教育＞

情報・学習センターとしての機能強化

＜総合的な学習の時間：体験学習＞

- ・米作り体験、社会見学工夫・防災学習等

◆主題研究◆

**「確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ児童の育成**  
～ 国語科、算数科における 授業実践を通して ～

＜研究内容＞ 一単位時間の手だての研究

- ・学びきる・・・学力をつける
- ・「ねらい・つきたい力・手だて」が明確な授業

人と関わり・仲間を支える声かけ、  
仲間と問題解決を図る姿

**「仲間づくり」** 仲間とつくる「学級の宝物」

◆仲間と問題解決を図る中で育てる  
「あたたかく、強く、しなやかに生きる力」  
＝仲間とともに取り組む、落ち着いた学級づくり  
＝日常生活の取組で生じた問題を見逃さず、解決に向け取り組む学級づくり  
＝意図的・計画的に取り組む学級づくり  
＝学年間・学年部間、教員間の連携を密に、共通理解のもとで指導にあたる姿（生徒指導・いじめ対応）

＜西小＝主な指導の場＞

- 「前期・後期」学級組織決め → 係活動、委員会活動 → 日ごろの常時活動
- なかよし学級遊び：学級・学年間で異学年交流。＝「遊び」を学級活動として年間最低5回実施。→「6年生を送る会」を、次期リーダーとなる5年生が主体となって企画運営、学年で発表会。
- 運動会（大縄跳び（8の字）大会）：意図的な企画＝応援団選出、応援の取組、学年部種目の取組、→ 異学年交流の場（下学年の練習指導）
- 人権教育「ひびきあいの日」＝学級宣言「かがやき見つけ・いじめ防止」
- 卒業式・6年生を送る会に向けての取組、卒業合唱・在校生合唱、卒業式。学級解散式。

**特別支援教育**

**学級経営・学年経営を基盤**